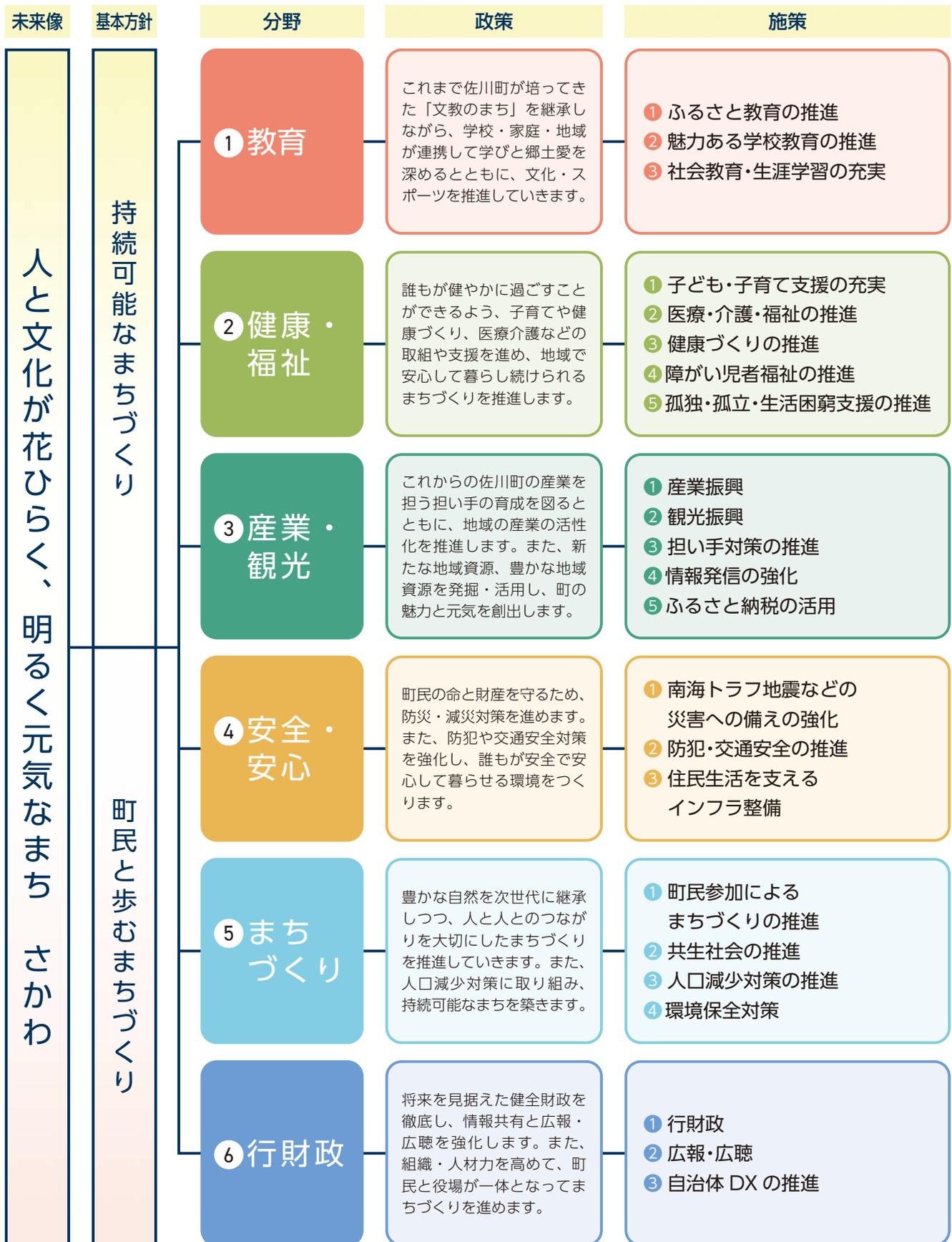




分野別の施策体系図



分野 1 | 教育

1 政策

これまで佐川町が培ってきた「文教のまち」を継承しながら、学校・家庭・地域が連携して学びと郷土愛を深めるとともに、文化・スポーツを推進していきます。

2 成果指標

指標名	現状 (R6)	方向性 (R17)
町民満足度調査 「教育環境（小中高校）が整っている」	46.6%	基準値から増加 ↑
町民満足度調査 「文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい」	25.5%	基準値から増加 ↑
町民満足度調査 「学びたいことを学べる機会がある」	27.6%	基準値から増加 ↑

3 現状と課題

- ふるさと教育の推進により、地域の歴史や文化を学ぶ機会が充実し、子どもたちの郷土愛や誇りが育まれています。今後も、ふるさと教育や地域との学びあいを推進し、地域に愛着をもち、地元で定住し、地域で活躍する人材の育成を進めていくことが求められます。
- コミュニティ・スクール制度の導入により、地域全体で子どもたちを見守り育む体制が整いつつあり、地域のつながりや子どもたちの学びの幅も広がってきています。一方で、協力者の固定化や高齢化が進んでおり、こうした体制を充実・発展させるためには、地域と学校をつなぐ人材を活かすことが重要です。
- 佐川町立図書館「さくと」の開館により、町民が気軽に学べる環境が整い、町民の学びの機会が広がっています。「さくと」は、生涯学習の分野だけでなく、学校教育や様々な分野との連携、既存施設との協働の可能性が広がっており、今後、その活用による多様な取組が期待されます。
- 県立佐川高校については、関係自治体や団体と連携内容を検討していく必要があります。

4 施策

①ふるさと教育の推進

概要	次代を担う人づくりの視点から、地域の歴史・文化・産業への理解を深め、郷土愛を育てるため、町内の人的・文化的資源を活用したふるさと教育を推進します。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用した独自のふるさと教育 ・さとを中心とした豊かな学びの場の提供 ・地域と学校との協働の推進

②魅力ある学校教育の推進

概要	かつて名教館で行われていた特色のあるレベルの高い教育を継承し、時代の変化に対応できる未来の担い手を育てていくため、佐川ならではの独自性のある学校教育を進め、確かな学力の育成を目指します。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「さかわ未来学」の充実 ・教職員力と学校力の向上 ・小中の一貫性の追求と保小の連携の強化 ・小学校・中学校と、佐川高校との連携強化 ・子どもの教育環境の整備

③社会教育・生涯学習の充実

概要	幅広い年齢層が参加できるスポーツ・文化活動等の生涯学習の機会を充実させます。また、既存の活動団体との連携を深め、スポーツ・文化活動の機運を高めます。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な生涯学習の機会と活動の場の提供 ・学びの拠点となる施設を活かした生涯学習ニーズへの対応 ・スポーツ活動の推進 ・伝統文化、文化芸術の担い手の育成・支援 ・文化財を保護・継承する意識の醸成と活用

1 政策

誰もが健やかに過ごすことができるよう、子育てや健康づくり、医療介護などの取組や支援を進め、地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを推進します。

2 成果指標

指標名	現状 (R6)	方向性 (R17)
町民満足度調査 「子育て支援・補助が手厚い」	46.6%	基準値から増加 ↑
町民満足度調査 「介護・福祉施設のサービスが受けやすい」	24.9%	基準値から増加 ↑
町民満足度調査 「医療機関が充実している」	37.3%	基準値を維持 →

3 現状と課題

- 給食費や保育料の無償化など、経済的支援を中心に、この10年間で子育て支援は飛躍的に充実しました。また、高齢者福祉や健康づくりについても、あったかふれあいセンター事業に代表されるように、地域一体となった取組が進み、介護保険料が抑制されるなど、成果が上がっています。障がいがある人の支援については、発達障害に対する認知度向上などもあり、ニーズが高まる一方で、サービスの受け皿としての社会資源が不足しています。
- 加速化する少子化に少しでも歯止めを掛けるため、妊娠から子育てまでの切れ目のない支援を一層充実させ、安心して子どもを産み、育てることができる環境を整えていく必要があります。
- 高齢化や過疎化が進む中で、個人はもちろん、地域での健康づくりや介護予防の取組は、住み慣れた地域において健康で、その人らしい生活を続けていくためにも大変重要で、引き続き、健康づくりや介護予防等の取組を進めていく必要があります。
- 公的なサービスを維持するために、介護・医療・福祉の分野における人材確保策を講じる必要があります。

4 施策

①子ども・子育て支援の充実

概要	次世代を担う子どもたちを安心して、産み育てられる環境づくりを推進します。また、子育てを地域ぐるみでサポートする体制づくり、子どもと子育て世帯にやさしい環境づくりを進め、地域全体で子育てを後押しします。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・まち全体で子育てする環境づくり ・ライフプランの実現に向けた環境づくり ・希望ある健やかな成長に向けた環境づくり ・すべての子育て家庭を守り支える環境づくり

②医療・介護・福祉の推進

概要	高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って、自分らしい暮らしを安心して続けられる社会の実現を推進します。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいき健康づくりの支援 ・あんしん福祉サービスの充実 ・まごころ地域ケアの推進 ・介護保険制度の持続可能性の確保

③健康づくりの推進

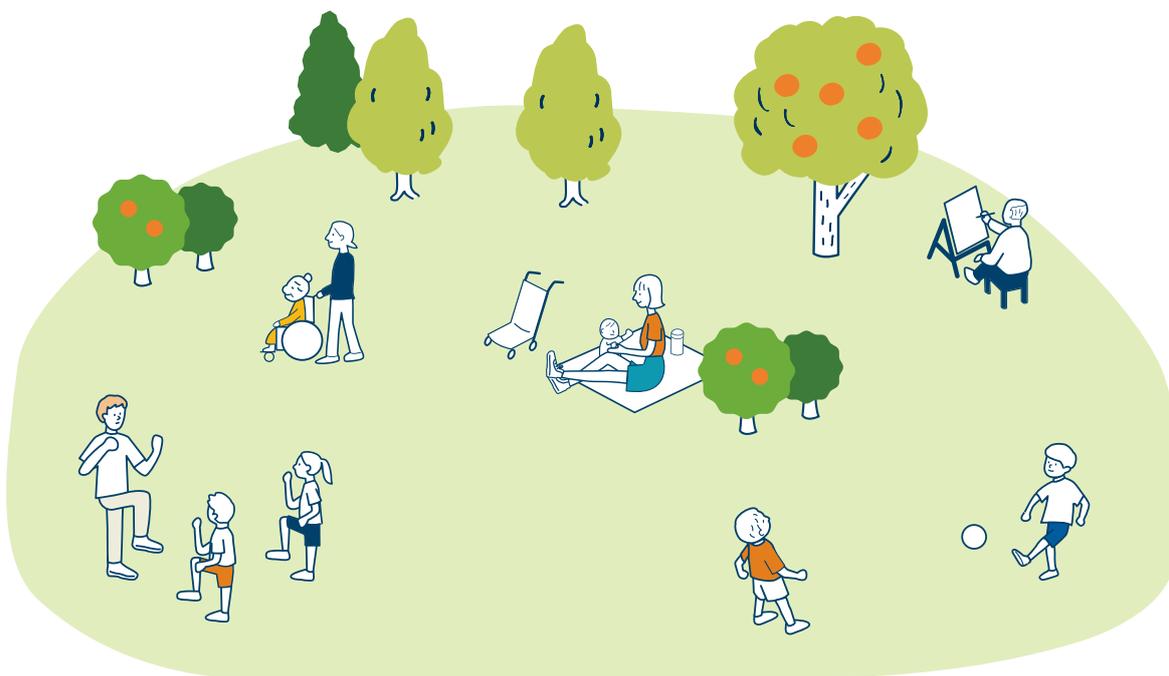
概要	誰もが健康でいきいきと活躍し続けられるよう健康づくりの活動を支援します。生活習慣病を予防し、健康な生活を送ることができるよう、意識啓発や情報発信を強化します。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな食生活の実践 ・運動機会の充実と環境づくり ・健（検）診受診の促進と生活習慣病の予防 ・こころの健康づくり

④障がい児者福祉の推進

概要	障がい児者とその家族が、安心して社会生活を営むことができるよう、必要な設備の整備やサービスの向上に取り組みます。また、教育・就労等の機会を充実させるとともに、障がいの有無に関わらず、一人ひとりが役割を持ち、支え合う地域社会の実現に向けた取組を進めます。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活を支える環境の整備 ・相談支援体制の充実 ・教育・就労・社会活動の機会の充実 ・地域共生社会の実現に向けた環境づくり

⑤孤独・孤立・生活困窮支援の推進

概要	人口減少や高齢化の進展に加えて単身世帯が増加し、地域における人と人とのつながりが弱まっています。高齢者・障がい者・生活困窮者に限らず、年齢や属性を問わず孤独や孤立によって支援を必要とする方を早期に把握し、相談につながる体制を強化します。地域全体で支え合う環境づくりを進め、誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指します。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・孤独・孤立のおそれがある町民の早期把握と相談支援体制の強化 ・集落活動センター、あったかふれあいセンター、社会福祉協議会、民生委員等との連携による支援の推進 ・居場所づくりや地域交流の促進による孤独・孤立の予防と支え合いの強化



1 政策

これからの佐川町の産業を担う担い手の育成を図るとともに、地域の産業の活性化を推進します。また、新たな地域資源、豊かな地域資源を発掘・活用し、町の魅力と元気を創出します。

2 成果指標

指標名	現状 (R6)	方向性 (R17)
町民満足度調査 「やりたい仕事を見つけやすい」	6.4%	基準値から増加 ↑
町民満足度調査 「適切な収入を得るための機会がある」	12.4%	基準値から増加 ↑
町民満足度調査 「景観や町並みの美しさ」	23.0%	基準値から増加 ↑
観光客入込数	141,495 人	基準値を維持 →

3 現状と課題

- 町の基幹産業である農業や林業、商業等、担い手不足や後継者不足対策が大きな地域課題となっています。また、近年の職業選択や働き方に対する意識の変化により、多様で柔軟な雇用環境への対応も求められています。今後は、町と関係機関が連携し、対応や支援を充実させていく必要があります。
- 観光分野においては、テレビドラマの効果により「植物のまち」としての認知度が高まりました。また、「まきのさんの道の駅・佐川」や「佐川おもちゃ美術館」といった新たな施設も注目を集めています。さらなる魅力向上のために、自然や歴史、文化と地域資源の磨き上げを進めるとともに、観光協会をはじめとする関係機関との連携の強化、関係人口の増加や移住・定住につながるような情報発信等が求められています。

4 施策

①産業振興

概要	後継者不足、担い手不足への対応を行うとともに、佐川町での農業、林業、商工業等がやりたい仕事として選ばれ、安定的に収入が得られる仕事となるよう、関係機関と連携して取り組んでいきます。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業基盤整備の推進 ・ 農業の生産性及び所得向上への支援 ・ 持続可能な森林整備による所得向上の仕組みづくり ・ 放置されている森林資源の一元管理と適切な森林整備の継続 ・ スモールビジネスや空き店舗等を活用した起業支援による商工振興

②観光振興

概要	「植物のまち」としてのブランド力を一層高めるとともに、自然や歴史、文化等の観光素材を継続的に磨き上げます。また、観光協会や関係機関と連携しながら、新たなツールを活用した情報発信を行い、関係人口の増加や移住・定住につながるような取組を行います。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光協会・行政・町民が一体となった観光客受け入れ環境の整備 ・ 「植物のまち」としての認知度のさらなる向上 ・ 歴史的な資源や町並みの維持・管理・活用 ・ 交流人口を拡大する取組の実施 ・ 地域資源の磨き上げと活用

③担い手対策の推進

概要	農業・林業・商工業を推進・発展させ、未来へつなげるために、町民はもとより移住者も含めて、担い手を確保し、後継者の育成を推進します。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一次産業に従事する地域おこし協力隊の雇用 ・ 各産業分野の新規参入者への支援 ・ 農商工の基盤継承の推進 ・ 事業承継の推進

④情報発信の強化

概要	町の魅力を効果的に広く伝えるため、様々なデジタルツールを活用し戦略的な情報発信を進めます。
取組内容	<ul style="list-style-type: none">・ デジタルツールの積極的活用・ 多言語・多様な媒体への対応・ 産業と観光の一体的 PR

⑤ふるさと納税の活用

概要	ふるさと納税は、町の財源確保だけでなく、地域資源の魅力発信において重要な役割を担っています。返礼品の開発や品質向上を支援するとともに、寄附者との交流や情報提供を通じて、関係人口の拡大や地域経済の活性化につなげます。
取組内容	<ul style="list-style-type: none">・ 新規返礼品の開拓とブラッシュアップ・ SNS を活用した情報発信とポータルサイトの効果的な活用・ リピーター・関係人口の拡大・ 地元事業者との連携強化・ 企業誘致の検討と新規事業者の開拓、育成



分野 4 | 安全・安心

1 政策

町民の命と財産を守るため、防災・減災対策を進めます。また、防犯や交通安全対策を強化し、誰もが安全で安心して暮らせる環境をつくります。

2 成果指標

指標名	現状 (R6)	方向性 (R17)
町民満足度調査 「地区の防災対策がしっかりしている」	56.9%	基準値から増加 ↑
町民満足度調査 「防犯対策が整っており、治安がよい」	57.7%	基準値から増加 ↑
町民満足度調査 「公共交通機関で、好きなときに 好きなところへ移動ができる」	21.4%	基準値から増加 ↑

3 現状と課題

- 近い将来、高い確率で発生が危惧されている、南海トラフ地震に対する町民の防災意識が高まっています。建物の耐震化や老朽住宅除去事業等の取組を進めてきましたが、今後も引き続き着実に推進するとともに、家庭内や地域における防災啓発を一層推進していく必要があります。
- 道路、水道、橋梁などの重要インフラについては、これまで長寿命化や耐震化に取り組んできましたが、安全で安心して暮らせる生活環境の維持・向上を図るため、今後も引き続き計画的なインフラ整備を実施していく必要があります。
- 地域公共交通では、さかわぐるぐるバスが地域の移動手段として定着しつつありますが、利用者の利便性向上や、地域の実情に応じた新たな交通手段の導入も求められます。
- 防犯・交通安全の分野では、通学路の安全確保や街灯の整備等を進めるとともに、交通事故防止や犯罪抑止に向けた取組の強化が必要です。関係機関と連携しながら、地域の安全確保のための施策を一層推進していくことが重要です。

4 施策

①南海トラフ地震などの災害への備えの強化

概要	近い将来、高い確率で発生する南海トラフ地震や風水害による被害を最小限にするため、住宅の耐震化や啓発活動に取り組み、地震や災害に強いまちづくりを進めます。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一般住宅の耐震化の促進 ・上水道老朽管路の更新と耐震化 ・拠点避難所の機能強化 ・消防団の育成、支援 ・防災施設の整備、充実 ・自主防災組織の活性化 ・防災訓練や防災学習会の促進

②防犯・交通安全の推進

概要	交通事故と犯罪のない、安全・安心なまちづくりのため、関係機関と連携し、道路環境の整備や交通安全意識の啓発に努めるとともに、近年多発する特殊詐欺、悪質商法等から消費者を保護し、被害を未然に防止する対策に取り組みます。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・交通危険箇所の解消 ・消費者保護対策の推進 ・交通安全意識の普及啓発

③町民生活を支えるインフラ整備

概要	道路や水道、学校、公民館等の町民生活を支える公共財産を最適に維持管理するため、公共財産の管理計画に基づき、インフラ整備に取り組みます。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・道路、橋梁の長寿命化計画の推進 ・水道事業経営計画の策定と推進 ・水道未普及地解消の取組 ・公共住宅を中心とした住環境の整備 ・地域公共交通の利便性向上の推進

1 政策

豊かな自然を次世代に継承しつつ、人と人とのつながりを大切にしまちづくりを推進していきます。また、人口減少対策に取り組み、持続可能なまちを築きます。

2 成果指標

指標名	現状 (R6)	方向性 (R17)
町民満足度調査 「リサイクルや再生可能エネルギー活用等、 環境への取組が盛んである」	23.5%	基準値から増加 ↑
町民満足度調査 「地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への 参加が盛んである」	36.4%	基準値から増加 ↑
町民満足度調査 「この地区に対して愛着を持っている」	63.9%	基準値から増加 ↑
人口の社会増減	-3人	±0人 →

3 現状と課題

- 人口減少や少子高齢化の進行により、地域活動の担い手不足やコミュニティの維持が課題となっています。持続可能なまちを実現するためには、若い世代の定住促進や出生率の向上に向けた取組とともに、多様な価値観や個性を認め合い、誰もが自分らしく安心して暮らせる共生社会を築いていくことが求められます。
- 持続可能な環境を次世代へ引き継いでいくため、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの取組を推進し、ゼロカーボンシティの実現を目指すことが求められます。

4 施策

①町民参加によるまちづくりの推進

概要	町民一人ひとりがまちづくりに主体的に関わり、地域の課題解決や魅力づくりに参加できる社会を目指し、安心して住みやすい地域づくりを推進します。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・協働によるまちづくりの推進 ・地域活動団体の運営支援 ・集落活動センターやあったかふれあいセンターの運営 ・佐川高校との連携

②共生社会の推進

概要	佐川町に暮らすすべての人が互いに尊重し合い、安心して暮らせる社会を目指します。文化や価値観の違いを理解・尊重し、多様な人々が共に生活できる環境づくりを進めます。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生の推進 ・多様性を認め合う暮らしやすい環境づくり ・人権尊重・男女共同参画の推進

③人口減少対策の推進

概要	人口減少対策として、「若年人口の増加」「婚姻数の増加」「出生率の向上」に向けた取組を推進します。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・若者・子育て世帯の支援 ・出会いや結婚の支援 ・関係人口の拡大 ・移住定住の推進 ・空き家活用を含めた住環境の整備 ・佐川高校の魅力化に向けた支援

④環境保全対策

概要	ゼロカーボンシティの取組を推進することで、豊かな自然環境、心地よい生活環境の保全と地域経済発展の両立を目指し、持続可能な地域づくりを推進していきます。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や事業所での省エネルギーの普及 ・生活環境の維持保全 ・再生可能エネルギーの導入促進 ・森林など自然環境の適切な管理・保全の実施 ・環境学習などによる意識の醸成

1 政策

将来を見据えた健全財政を徹底し、情報共有と広報・広聴を強化します。また、組織・人材力を高め、町民と役場が一体となってまちづくりを進めます。

2 成果指標

指標名	現状 (R6)	方向性 (R17)
町民満足度調査 「行政は地区のことを真剣に考えていると思う」	23.1%	基準値から増加 ↑
町民満足度調査 「行政サービスのデジタル化が進んでいる」	12.8%	基準値から増加 ↑
町民満足度調査 「公共施設は使い勝手がよく便利である」	27.1%	基準値から増加 ↑

3 現状と課題

- 行政に求められるニーズは多様化・高度化しており、職員研修を通じて組織の対応力や業務の質の向上に努めてきました。今後も、人材育成の強化や DX の推進により、効率的な行政運営と町民サービスの向上を図る必要があります。
- 財政面においては、限られた財源を有効かつ適正に活用し、収支の均衡を確保するとともに、将来を見据えた健全で安定的な行財政運営を継続していくことが求められます。
- 広報紙やホームページ、SNS などを活用して町政や生活に関する情報発信を行うとともに、懇談会などを通じて町民の声を直接聴き、地域課題の共有と解決に取り組んできました。今後も、町民の意見を反映できる仕組みを整備し、町民参加型のまちづくりを推進していくことが求められます。

4 施策

①行財政

概要	自主財源に乏しい財政状況の中、地域課題や目まぐるしく変化する社会状況に対応するため、将来を見据えた安定的な財政運営に取り組みます。多様化する町民ニーズを的確に把握しつつ、中長期的な財政の健全性を確保していくことが重要となります。
取組内容	<ul style="list-style-type: none">・ 役場職員の能力強化・ 将来を見据えた財政運営・ コンプライアンスの徹底

②広報・広聴

概要	広報誌やホームページ等の内容充実と利便性の向上を図り、行政と町民が情報を共有することでまちづくりに一体となって取り組む体制を構築します。また、広聴体制を充実させるため、地域での意見聴取の機会を継続的に実施します。
取組内容	<ul style="list-style-type: none">・ 広報誌の充実・ 広報媒体の多様化・ SNS 等の活用による双方向システムの検討・ 地区懇談会の開催

③自治体 DX の推進

概要	デジタル技術を活用して行政サービスの効率化・高度化と町民の利便性の向上を推進します。
取組内容	<ul style="list-style-type: none">・ デジタルを活用した業務効率化・ 町民の利便性向上